

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	C99-18560	男性	7	アミノフィリン セフトリアキソンナトリウム ツロブテロール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン メフェナム酸	排尿障害 振戦 意識レベルの低下 不眠症 錯乱 易興奮性	回復	A型インフルエンザで全身状態が悪く入院。塩酸アマンタジンなど投与開始。 翌早朝から、悪寒あり。意識は清明。その後、上肢のふるえ、全身倦怠感あり、本剤投与中止。午後、それまで眠っていたが急に興奮してベッド上で暴れまわる。訳のわからないこともいっている。夕方、落ち着く。
2	B07009393 (C02-4656)	女性	8	ファロペネムナトリウム クラリスロマイシン 硫酸セフピロム	言葉もれ 好中球減少症 情動障害 運動過多	回復 回復 回復 回復	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン内服開始。 投与4日目、学校で朝礼中に角の方へ突然フラフラと歩く。帰宅後口腔内に異物をくわえている。 情動失禁、多弁、多動見られる。翌日、本剤中止。有害事象発現時の記憶なし。
3	B06026877	男性	12	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン投与。4時間後、自宅2階へ上がり、ベランダの柵に足をかけ飛び降りようとしていたため、家人が引き止めた。その後本剤服用しているが、異常行動はみられていない。
4	B07003835	男性	13	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型陽性にて塩酸アマンタジン処方。同日夜、39.0度、熱さましシートを頭にはった時、シートにバイ菌がついていると言ってはざとり、しばらくボーとして家の中を歩きまわっていた。その後就寝。投与2日目、異常行動はみられなかった。
5	B06008363	男性	17	リン酸オセルタミビル	自殺既遂	死亡	オセルタミビル服用し、2時間後に裸足のまま国道に飛び出しトラックにはねられ死亡。 患者はオセルタミビル処方前に塩酸アマンタジンを服用していた。
6	B07009707 (C03-2033)	男性	38	マレイン酸フルボキサミン セフジニル 塩酸アンブロキシソール 酸化マグネシウム 鎮咳配合剤	錯乱状態 うつ状態	回復 不明	A型インフルエンザを疑い、塩酸アマンタジンなど3日間投与。 投与終了2日後、物忘れがひどい、集中力がなく、仕事に支障が出ているとの主訴で受診。 その夜、自宅で急性錯乱状態となる。 自らおかしいと警察へ通報し、警官に付添われ精神科を受診。急に外へとび出そうとする等がみられたことから、入院となる。

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）（効能追加承認から平成19年9月30日まで）

No	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
7	B05001691	男性	81	ニトレンジピン フロセミド アロプリノール 塩酸タムスロシン アスピリン ファモチジン 酪酸菌配合剤 エチゾラム	激越 幻覚 錯乱状態	回復 回復 回復	A型インフルエンザのため、塩酸アマンタジン服用開始。 投与2日目、夜間に部屋の中を歩き回ったり、自傷行為をした。 投与5日目、本剤投与中止。その後徐々に回復。
8	C98-18236	女性	99	ジアゼパム スピロラクソン シルニジピン 塩酸プロピペリン ジゴキシン アルファカルシドール	易興奮性 錯乱 幻覚 不安 独語 言葉もれ	死亡	アマンタジン投与開始5日目、目がらんらんとして興奮状態になり幻覚症状によりベッドの下をのぞき込む動作が何度も見られた。 投与7日目朝、ベッドの柵をはずし、たちあがったり、不穏状態。 投与8日目朝、ベッドから転落、顔部裂傷・打撲、右手打撲。 投与9日目朝、ベッド上座位にしてもすぐに横にくずれる。 投与10日目朝、ベッド上ぐるぐる回りベッドのさくに顔をはさんだり、体動が激しくなって、独語が多くなる。 投与11日目午後、多弁、ベッド上体動が激しい。本剤投与中止。 投与中止1日目の早朝も入眠せず体動が多い。 投与中止2日目の朝、多弁で体動が活発、ベッドから降りようとする。 投与中止4日目の朝、訪室の際に、ベッドの鉄さくの間より頭～肩～腕を突っ込んで上半身垂れ下がった状態で発見される。呼吸停止、顔面（四肢）のチアノーゼ著明。3時間後、永眠。